

一般選抜（前期）国語 解答例

一

問一 1 衝撃（衝激） 2 越境 3 矛盾（矛盾） 4 吐露

問二 なくなった大事な人やものの思い出、感情、想いなどとともに、その対象をあるの世界に包含したり帰属させたりする仕方。（五六字）

問三 なくなった人やものへの想い、愛情、記憶などは残された人の側に過剰にある一方、それが帰属する対象自体がない、不均衡な状態。（五九字）

問四 なくなった大事な人やものについて、自分が思い出し、想像し、作り上げた像は自身の産物にすぎず、自身の創作の範囲には収まらない実際の対象の性質が不足していること。（七九字）

問五 今はなき大事な人やものに関する思い出や想像などをもとに、その像を創作し対象をあるの世界に一時的に位置づけ直しても、その像はあくまで自身のイメージで生前の対象自体ではなく、やはりそれが無い、という事実に向面することの繰り返しに翻弄される体験。（一一九字）

**問一** 人の直面する選択肢すべてを効用とコストにもとづいて判定し、数学的に記述し、客観的に将来を予測することが可能になるから。(五九字)

**問二** 人は効用計算ではなく、理由にもとづいて行動する。(二四字)

**問三** ある行動をする際に、それによって得られる効用が行動の理由になっていること。(三七字)

**問四** 十分な理由によって支えられた選択肢は複数存在する可能性があり、そのどれを選んでも合理的だから。(四七字)

**問五** 科学的合理性の前提に立つ学問遂行は、社会科学者自身の効用を効率的に最大化することになるが、それが事実在即した学術的成果の公表につながる保証はないから。(七五字)

問一 ハ（はつと）気づかされる

ニ たまたま／ひよつとして

ホ うわの空で／茫然として

問二 生き長らえたいと思いながら亡くなった人の言葉（歌）を、生きるのを煩わしく思う自分が生きのびて目にしたという状況の皮肉さ。（五七／五六字）

問三 浮嶋が原で出会った僮僕から光親卿が処刑されたと聞き、宗行自身も同じ最期を迎えると思い知らされたから。（五〇字）

問四 今日一日を過ごすのもつらい身で浮島が原までやって来たが、自分もこれで最期と確かに聞き知ったことよ。

#### 四

##### 問一

- a おいて
- b ばかり
- c もつぱら
- d しきりに
- e うたた

##### 問二

二尺ぐらいの材木が蟹取りの仕掛けの中にあり、仕掛けは裂けて、蟹はそこから逃げ出していなくなっていた。

##### 問三

私を解放しないばかりか、姓も名も教えてもくれない、もうこれ以上どうしようもないなあ。

##### 問四

材木の姿で王に捕まったので、化け物の本性を現し解放を乞うたが王が応じないから、今度はその姓名を聞き出して王を傷つけて逃がれようという意図があった。（七三字）